

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	オリジナル作品制作4
科目基礎情報				
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期 後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 30時間
単位数	1単位			授業形態 実習
教科書/教材	自分で制作した楽曲を保存しておけるようなUSBまたはハードディスク			
担当教員情報				
担当教員	坂詰美紗子、下條 慧		実務経験の有無・職種	有・シンガーソングライター、作家
学習目的				
<p>Real Dreamsオーディション用音源の制作、他外部オーディション用デビューに向けた楽曲制作を制作することを最大限の目的とする。</p> <p>楽曲の構成・各セクションの機能を理解し、ヒット曲の分析も行い、分析結果をもとにセクションでのメロディー制作のノウハウを習得する。</p> <p>同時にコード進行制作や編曲も学び、デビューに向けた楽曲を完成させることを目的とする。</p>				
到達目標				
<p>各々の音楽活動内容に合わせた楽曲を制作できるようにすることを目標とする。</p> <p>卒業時までに可能な限りの曲数を制作し、また多くのスタイル（パターン）の楽曲を完成させることを目指す。</p> <p>コラボレーション作業によりコミュニケーション能力の向上を身に付け、チームプレイの大きな利点でもある完成度の高い作品を輩出できるようにすることを目標とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	この授業では自分が作り出したメロディーをクリエイターとタグを組んで制作していく。自分が表現したい曲の世界観をリファレンス楽曲などを使用したりして伝えていく。ポカルの生徒、クリエイターの生徒の双方がリファレンスやテーマを共有することで1曲を完成させ仕上げていく。			
注意点	楽曲制作をする上でのオーダー力とオーダーを受け取る側のイマジネーション能力が非常に重要となってくる。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	0%		
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表表 (口頭・実技)	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。	
	平常点	60%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	Co-Writingの概要	共働作曲のメリット・デメリットについて理解する Co-write作品の分析を行う		
2回	Co-Writing①	ベアリングを行い作業工程のスケジューリング・行程内容を打ち合わせる		
3回	Co-Writing②	作詞・作曲を行う 作業分担に関しての明確な配置を完了させる		
4回	Co-Writing③	編曲に関してのアイデアを出し打ち合わせる 編曲の方向性の決定		
5回	Co-Writing④	①作詞決定②メロディー作成③ベーシックアレンジを確定させる		
6回	Co-Writing⑤	アディショナルアレンジメントの構成を決定させる インストゥルメンテーションの確定		
7回	Pre Production①	DAWによるプリプロ音源の制作 仮歌レコーディング		
8回	Pre Production②	レコーディングに向けての譜面作成 演奏者選出 スケジューリング等準備を行う		
9回	Recording①	ベーシックリズムのレコーディング スタジオワークとは何かを理解する		
10回	Recording②	オーバーダビングを主とする単発楽器録音を行う		
11回	Recording③	アディショナルセクションのレコーディング（ストリングスセクション）		
12回	Recording④	アディショナルセクションのレコーディング（プラスセクション）		
13回	Mixing①	ミックスダウン作業（バランス取り）を行うことにより音色・定位に対しての理解を深める		
14回	Mixing②	各種エフェクトの挿入作業 コンプレッサーを含むプラグインエフェクターの知識を付ける		
15回	発表会	完成音源の発表により評価をもらい各自弱点を認識し改善を試みる		